

令和5年度 第3回 市政モニタ一会議報告書



市長講演の様子

新居浜市 企画部 秘書課

令和6年3月

(事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんと、市長との直接対話を通じて、市政の状況などをお知らせするとともに、いただいた意見を今後の市政運営の参考とさせていただくことを目的に実施しました。

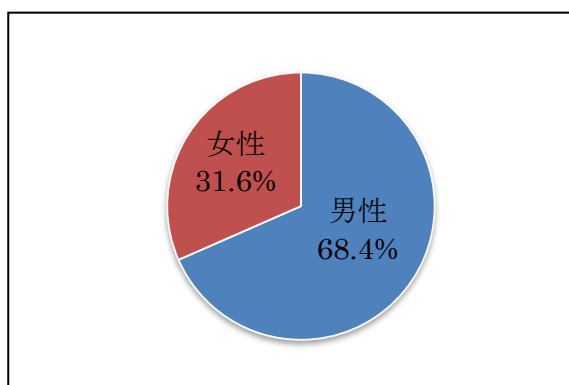
(日 程) 令和6年2月22日(木) 9:30～11:50

(場 所) 新居浜市消防防災合同庁舎 5階災害対策室

(参加者の状況)

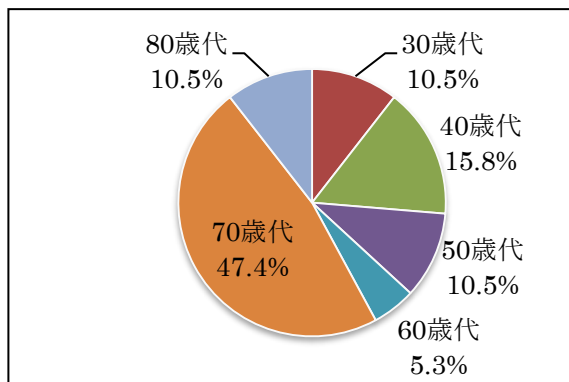
<性別>

	人数	割合
男性	13人	68.4%
女性	6人	31.6%
合計	19人	100.0%



<年代別>

	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	2人	10.5%
40歳代	0人	15.8%
50歳代	1人	10.5%
60歳代	1人	5.3%
70歳代	8人	47.4%
80歳以上	1人	10.5%
合計	13人	100.0%



※年齢は令和5年4月1日時点

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(内 容)

①市長講演 「新居浜市政について」

*市長より、第3ステージを振り返りながら、基本政策である7つの夢の実現に沿って、今後の主な取り組みについて説明

<はじめに>

夢をかたちにチーム新居浜!! 第3ステージ : 共につくろう 笑顔輝く新居浜市
基本政策(7つの夢の実現) / 幸せの48施策 / 重点15施策

■安全で快適に暮らせる都市の実現

- ・幹線道路の整備促進
- ・滝の宮公園リニューアル事業
- ・東田団地の整備
- ・防災・減災対策の強化
- ・新居浜港・東予港(東港地区)港湾脱炭素化推進計画の策定

■活力ある産業活動の実現

- ・新居浜市プレミアム付き地域応援券等の販売
- ・人材確保対策
- ・新居浜 LNG 基地、新居浜北火力発電所の運転
- ・企業のデジタル化に向けた取り組みに対する支援
- ・別子山市有林の整備
- ・大阪・関西万博への太鼓台派遣

■地球にやさしい暮らしの実現

- ・下水処理場での「し尿、浄化槽汚泥共同処理」
- ・電動アシスト自転車購入支援補助金
- ・持込ごみ・大型ごみの一部有料化
- ・2市連携によるごみ処理施設の広域化

■健康で、生きがいのある暮らしの実現

- ・新居浜市歯科衛生士修学支援制度の創設
- ・県立新居浜病院の完成と救急ワークステーションの開始
- ・企業連携型地域子育て支援拠点事業
- ・子ども医療助成費
- ・愛媛大学医学部寄附講座の開設
- ・健康プログラム事業

■市民の力が育まれ、継承される社会の実現

- ・「旧端出場水力発電所」の一般公開
- ・学校給食センター建設事業
- ・新市民文化センター建設事業

■自立・連携する協働社会の実現

- ・神奈川県横須賀市との都市間交流協定締結
- ・協議会型地域運営組織モデル事業
- ・消防指令共同運用調査事業
- ・縁結びサポート事業

■持続可能な市政の実現

- ・デジタル技術を活用した市民サービスの向上
- ・SDGs 未来都市の選定
- ・NHK連続テレビ小説の誘致活動
- ・「都市データパック」住みよさランキング愛媛県1位（東洋経済新報社調べ）

<おわりに>

本年は第3ステージの「総仕上げの年」であります。市民の皆様にお約束した公約の実現に向けて、全力で取り組んで参る所存でございますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

誠実・決断・実行 → 『笑顔輝く新居浜市』の実現

②市長講演の内容に関する質疑応答

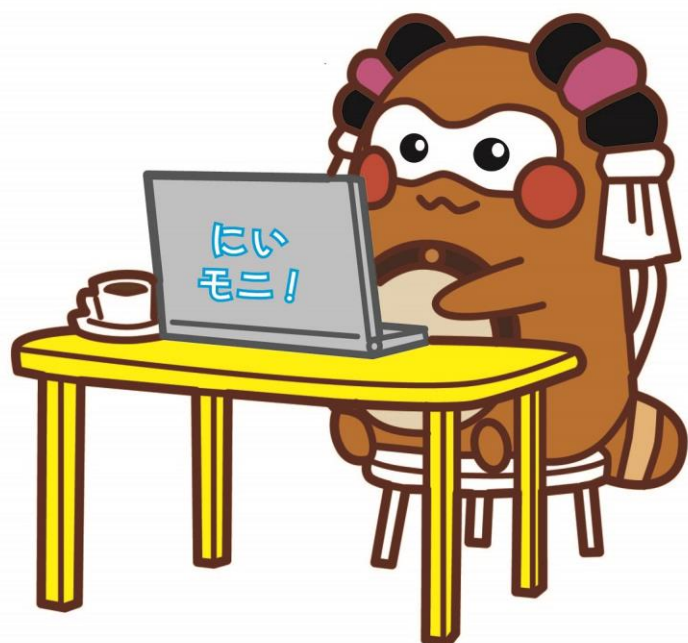
*いただいた質問と市からの回答（※御質問・回答は内容を要約、編集しています。御了承ください。）

	質問	市の回答
1	<p>学校給食センター建設事業について、給食センターの大規模改修が行われるということだが、1か所だけになっては災害時に困りませんか。</p>	<p>今回は西部地域ということで、住友病院の西側に大規模施設を設置いたしました。現在既にある泉川の上部給食センターについても継続して運営していきますので、少なくともはなりますが2か所での稼働となります。また、建設中の給食センターでは、災害時の炊き出しも行える設備も整備する予定でございますので当面はそちらで対応していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
2	<p>企業連携型地域子育て支援拠点事業としてイオンモールに設置された子育て支援施設について、現在の利用状況を教えてください。</p>	<p>令和5年4月から12月の間の利用状況ですが、地域子育て支援拠点事業利用者数は、子どもが1,422人、大人が1,392人、一時預かり事業利用児数664人で利用時間数は1,576時間、子育てサービス利用者支援事業17人となっています。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
3	<p>今年度の市政モニター施設見学会でも端出場水力発電所を見学させていただきました。そのほかにも2回ほど訪れましたが、いつもアクセスに苦労しています。階段を降りるのはいいのですが、帰りの上りが特に苦労します。車椅子の方の利用はもっと厳しいと思います。また、この施設には御手洗いがありませんので、橋のところまでいかなければなりません。遠いため間に合わない事態も起きるのではないかと思います。これについて何か改善策を考えられていますか。</p>	<p>同様の御意見を非常にたくさんいただいております。当初は施設の入口まで直接橋を架けて行けるようにしたいと考えておりましたが、様々な制約があり、現状はマイントピアからの周回路と階段を通過いただく形になっております。やはり利便性の向上から考えますと橋が必要ではないかということで、現在、マイントピアの駐車場から発電所側の水車があった場所へ橋を架ける計画の調査に取り掛かっております。トイレの問題も御提案いただきましたが、そこに橋を架けるとマイントピアの駐車場のトイレが近くなることにより問題解決を図れるのではないかと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
4	<p>新市民文化センター建設事業について、今回パブリックコメントを募集されるということになっていますが、このパブリックコメント募集について。過去のパブリックコメントで集まった意見に対してどのような見直しがあったのか。パブリックコメントについては私の個人的な考えですが、もう決まりきっているものについて意見をいただくだけなのかなという感じがしています。意見がどう反映されたのかということで小中学校統廃合に関して例を挙げて説明をいただければと思います。</p>	<p>パブリックコメント自体への市民の方からの関心が非常に薄いと感じております。パブリックコメントを募集しても、意見が出てこない、あるいは1、2件ということが多い。これは、こちらのPR不足、市民の方への周知徹底不足かもしれませんが、ほとんど意見が出てこないのが実態でございます。いただいた御意見には丁寧にご回答させていただいておりますし、現在意見募集中の市民文化センターにつきましても、大いに皆様からの御意見を出していただき、議論をさせていただきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p> <p>新居浜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画に関する意見募集は令和5年2月20日～3月24日までの間実施され、結果につきましては意見提出いただいた方が13名、提出いただいた意見が33件ありました。1つ1つの御意見に対して市の考え方をお答えさせていただくとともに、今回の計画が、学校、保育園、幼稚園、PTA、自治会、公民館のほか、市内各種団体の代表者で構成する「新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会」の答申を踏まえて、教育委員会としての基本的な考え方を整理したものでしたので、適正化の検討が必要な学校の個別計画策定において、地域の意見として十分に考慮させていただくこととしております。</p> <p style="text-align: right;">《秘書課・学校教育課》</p>

	質問	市の回答
5	パブリックコメントでは敷居が高いので、公民館や自治会館を利用して意見を聞いてはどうでしょうか。また、市民文化センターについては利用者の意見を十分に聞いてあげてほしい。	学校統廃合の件につきましては、浮島小学校については公民館で地域の方をお招きして一度説明会を開催したと聞いております。また、市民文化センターの建て替えについては、意見を聞く機会を十分に設けたいと思います。 (市長)
6	地球にやさしい暮らしの実現ということで、その中で持ち込みごみ、大型ごみの一部有料化の話があったが、結果として収集、持ち込みごみが減少したというのは行政としては非常に良いことだと思いますし、目的を達せられたのだと思いますが、私自身は各家庭から出るごみ自体が減ることは、少々考えにくいと感じています。収集・持ち込み量は減少したが、実際のごみの量はどうかということについて、例えばサンプリング調査するとかなど確認していただけるとありがたいと思います。	直接搬入ごみにつきましては6割減少し、大型ごみにつきましては7割減少したとの担当部局からの報告を受け、では減った分は不法投棄されたのかということ、そうではなく、パトロールにおいても不法投棄件数が増えているわけではありません。考えられるのは、自宅等でストックされているものもあるのではないかと考えますが、リサイクルや再利用などへ回していただけたものもあるのではないかと思います。 (市長)
7	ごみについて、年齢が高くなると大型ごみを出しにくくなります。清掃センターまで持っていくことはほとんど無理です。終活をしてくださいと言われてますが、高齢者の家庭を訪問すると大型ごみがたくさん家に残っています。そこで、私たちが考えているのは自治会の広場に、1か月に1度でも大型ごみを出して、集積をし、それを市が回収に来てくれるのであれば、家庭から大型ごみが減ると思いますがどうでしょうか。	大型ごみについては有料ではございますが、お電話で予約いただければ以前と同様に取りにお伺いすることが可能です。 また、自治会がボランティアとして、自身で処理することが困難な高齢者などの大型ごみを清掃センターに持ち込んでいただく場合には有料であればいつでも可能です。現在、大型ごみは有料で戸別収集しておりますので、お電話で御予約のうえ、大型ごみの処分をお願いいたします。 (市民環境部長)
8	端出場水力発電所について、入場料は取れませんか？それを色々な整備などに役立てることは可能だと思いますがいかがでしょうか。	入場料については、庁内でもかなり議論を尽くしましたが、まずは多くの皆さんに来ていただきたいということで、当面無料にてオープンいたしました。確かに3万人以上という期待以上に多くの方に来訪いただき、全国からも大勢の方に興味を持っていただいておりますので、今後どうするかについては財政も厳しい折ですので、また庁内で検討させていただこうと思います。 (市長)

	質問	市の回答
9	<p>新市民文化センターについて、令和10年度から解体を含めた新市民文化センターの整備工事に着手し、令和14年度頃の供用開始を目標とするとのことでしたが、5年ぐらいの間、現在文化センターを活用して活動や披露などを行っている団体にとって場所がなくなってしまうのですが、その団体に対して活動の場の提供はどのように考えていますか。あかがねミュージアムや中ホールも残っていると思いますが、現在の大ホールの1,000人規模のイベントについてはどうすればよいでしょうか。</p>	<p>新しい場所に新しい施設を建設する場合には、現在の施設を使用しながらの移行も可能ですが、今回は同じ場所への建設となっておりますので、中ホールは最後まで残しておいて、新施設ができてから中ホールを壊すということを考えていますが、おっしゃられたような1,000人規模の御利用につきましては御不便をおかけするのではないかと考えております。今の計画ではやむを得ないと考えており、御不便をおかけするとは思いますが施工中は西条市や四国中央市の利用を考えていただくようなことにはないかと思えます。</p> <p>(市長)</p>
10	<p>防災・減災対策の強化について。現在地区防災計画をほとんどの地域で作ろうとしていると思いますが、まだできていない地区がほとんどだと聞いておりますし、完成しているところも形式的で、いざというときに使えるのか不安があるような意見を聞いております。もっと実質的なものになるような追加支援を行うお考えはありますでしょうか。ぜひともやってほしいと思っております。</p>	<p>地区防災計画につきましては、昨年度、令和5年2月にすべての地区で作成を完了しております。初めて作成した地区もございますので、おっしゃるとおり形式的なところもあると思いますが、今後防災訓練やそれぞれの自治会での話し合いを通じて実情に合った形に変えていただければと考えております。市でも実施に際しては支援をしていく予定であります。</p> <p>(危機管理監)</p> <p>令和6年度には、自力避難が困難な要支援者と要支援者に対する支援の方をどう配置するかということについても再度徹底して取り組むこととしています。</p> <p>(市長)</p>
11	<p>協議会型地域運営組織モデル事業について、地域住民の自主性、住民自治という面で非常に素晴らしいと感じていますが、進捗状況をお伺いします。ぜひ成功裏に導いてほしいと思っておりますので現在の状況をお伺いします。</p>	<p>2年間の準備期間において、住民の皆様からのアンケート、或いは地区のまちづくり計画づくりを行い、この令和5年から新しく組織を作って活動を始めているところです。従来からの活動に加え、防災活動や地域の魅力を高める活動などを行うとともに、当該地域のたくさんの方にまちづくりの情報を届けるため、ホームページを作って情報発信をしたり、タウン情報誌網を使ってまちづくりの広報を行うことにより自治会の加入・未加入にかかわらずすべての方に情報を届けるような取り組みを現在行っています。ちょうど1年が経過しようとしているところであり、成果の取りまとめにはもう少し時間を要しますが、1年間の活動の成果と、この1年で見えてきた課題について検証をさせていただき、良いところは他の校区の模範となるよう情報共有もさせていただきたいと思えます。</p> <p>(市民環境部長)</p>

	質問	市の回答
12	<p>2支所の廃止というのを SNS 上で見かけましたが、その真偽と、もし本当であるならば支所が今まで担っていた機能をどうされるご予定なのかをお伺いします。</p>	<p>予算の記者会見の中での説明が SNS で発信されていたのではないかと思います。現在本市における各種証明書の発行や戸籍などの異動届出等は 20 万件あり、そのうち、川東・上部支所における件数は両支所で 4 万件となっています。現在コンビニエンスストアで住民票等も発行できるようになっておりますので、そちらのほうを利用される方がだんだん多くなってきているのが実態です。それをもっと拡大していかないと一気にというのはなかなか難しいですが、支所の建屋も老朽化し、IT 化も進んできている中、支所の廃止を今後検討していきたいと考えています。目標としては令和 7 年 3 月末での廃止に向けて来年 1 年をかけて検討を進めたいと考えております。その間、令和 6 年度の年度当初から支所にコンビニと同じ操作の端末を設置し、来られた方に使用方法を試していただくような取り組みを行う予定です。また、市役所の窓口にも同じような端末を設置し、市民の皆さんに馴染んでいただこうと考えています。支所の廃止につきましては影響も大きいものですので、様々な機会を通じ、説明の場を設けたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>



©NPO 法人新居浜まちゅり隊

・モニター意見発表

*いただいた意見と市からの回答（※御意見・回答は内容を要約、編集しています。御了承ください。）

	意見	市の回答
1	<p>【行財政運営関係】</p> <p>行政として新居浜市が捉えている課題は何でしょうか。そしてその課題への対応としてどのような施策を実施しているのか、もしくは実施しようとしているか お教え下さい。</p>	<p>現在本市では、将来こういうふうなまちにしたいということでそれぞれの課題を調査し、それにどう対応していくかということをもとめたのが「第六次新居浜市長期総合計画」ですが、この計画を作る時点でどのような課題があるのか調査したところ、「①人口減少、超高齢社会にどう対応していくのか」、「②保健、医療、福祉サービスをどう充実させていくか」、「③子育て世代などへの支援の充実・協働のまちづくりの推進」、「④地球環境・生活環境の保全」、「⑤産業の振興と雇用の創出」、「⑥安全・安心・快適な都市基盤の整備」、「⑦効果効率的な行財政運営・高度情報ネットワーク化等への対応」の7つを本市の抱える主要課題として整理しておりますが、中でも1丁目1番地は私は「①人口減少、超高齢社会への対応」が本市の最重要課題と考えておりますのでそのことについて説明させていただけたらと思います。</p> <p>こちらのグラフ（【資料1】参照）は新居浜市が作成している人口ビジョンと国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づくグラフです。このまま何もしないで推移すると青い点線が示す通り新居浜市の人口は2060年に86,000人くらいになるといわれています。今現在は、1月末で114,000人くらい。当市の計画が赤色の線ですが、人口減少を何とか食い止めて2060年に9万人を維持しようというのが今のうちの人口ビジョンでございます。現在、毎月の人口統計資料を見ますと、転入・転出、いわゆる社会増減は大体イコールです。問題は、亡くなる方の数で、高齢の方が多いので毎月150人程度が亡くなられます。一方生まれる方は50人から80人くらいなので自然増減の差が即減少に繋がった場合は毎月100人前後が減少するということになり、年間で1,000～1,500人くらいが減っていくのが実態です。このまま推移していくと先ほどの青色のグラフのとおりとなりますので、その減り具合を何とかゆるやかにして人口を維持しようというのが総合戦略となっております。いろいろありますが、産業の誘致等雇用の拡大や、よそからの交流人口・関係人口の拡大を図るための魅力ある新居浜市の実現。そして出生数上昇。今、新居浜市の場合は1人の女性が一生の間に産む子供さんは1.75人と非常に高く、四国の中では一番高い状況でございます。それでも1.8から1.75に落ちてきているところですので何とかこれを維持して、さらに高めていきたいと考えています。それと同時に高齢者の方にも健康を維持して長生きしていただきたい。これらに力を入れて人口減少を食い止めて、持続可能なまちを目指していきたいと考えているところです。</p> <p>（市長）</p>

	意見	市の回答
2	<p>【行財政運営関係】</p> <p>運動公園構想について、以前のモニター会議で年代別の回答をデータとして集計してほしいということを進上しました。全ての政策についていえることですが、地方社会では高齢者の数が多いため、単純にアンケートをとった際に高齢者の意見が圧倒的に多数を占めてしまうという現象が起きてしまいます。</p> <p>この構想については計画・着工までも数年～10 数年を要するでしょうから、現在の児童・生徒、若年層の世代の運動ニーズを最重要視する必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、隣接市に同様の施設が存在して、新居浜に同様の施設を作る必要性（需要）が将来的になくなることもありえると思います。例えば、西条市・四国中央市に耐用年数が依然として十分に認められている野球場がいくつかある中で、以前に市がアンケートをとった結果でも分かるように新居浜市の若年層の野球人口や野球に対する興味は著しく減少傾向にあり、数も多くない新居浜で 10～20 年後でも野球場のニーズは果たしてあるのでしょうか。</p> <p>その辺りについて、根拠のあるデータを市民に公開しながら、市民が納得できる計画につなげてほしいと思います。何か現時点では、あのアンケートを結果をないがしろにした計画が進みそうな気がしてしょうがありません。</p> <p>さらにここまで述べて根本的なところに立ち戻ってしまうのですが、この構想については熱心な議員さんがかなり以前から何とか実現に向けて旗手を振っている印象ですが、市民全体の空気感として、「残念ながらこの構想については予算がなく、旗を振りだした手前引っ込めづらいのだろうが途中で頓挫してしまうだろう」という空気感が蔓延している現在の状態について市はどうお考えでしょうか。</p>	<p>前回の時にも年代別のアンケートを、という御意見をいただきましたことを覚えておりますが、この総合運動公園構想に基づき、基本計画まで策定しておりますが、先ほど御説明した文化施設の建設が令和14年くらいまでかかるということで、それに莫大な費用が掛かる中、そちらの建設が済まない総合運動公園には着手できないのではないかなという考えを持っております。おっしゃるとおり将来的に野球がどうなるのかという問題もありますが、最近大谷選手の活躍でまた野球に注目が集まっているところもありますので将来がどうなるのかという見通しは立ちにくいところではありますが、基本構想の中でもありますように、野球場、陸上競技場、体育館というような施設はやはり必要ではないかという思いは持っております。ただ、先ほど申し上げましたとおり文化センターの建て替えの影響により着工は遅れますので、当面としては来年以後市営球場の改修を行う予定としております。具体的にはトイレや雨漏箇所などの改修などを実施し、あと10年程度は使えるようにしなければならないと考えています。また、陸上競技場のほうも公認取得のために改修を実施する予定といたしております。このようなことから総合運動公園につきましては遅れるということをお理解いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>

	意見	市の回答
3	<p>【防災・危機管理関係】 地震などで避難場所とされるところに個別テントや仕切り段ボール、飲料など備蓄されているのでしょうか？</p>	<p>新居浜市では、指定避難所となっている各小・中学校に水や食料、衛生用品等の備蓄物資、また、間仕切りセットや段ボールベット等の資機材備蓄も配備しております。また、令和6年度中に各小学校の給食室の一部を備蓄倉庫に改修し、そちらに備蓄物資を保管するということを計画している状況でございます。</p> <p>(危機管理監)</p>
4	<p>【防災・危機管理関係】 先日、高津校区の防災訓練に防災士として、非常時のトイレの使い方の説明とか段ボールベッド等の作り方等、消防の方の協力や婦人部、自治会等の協力で無事終わりましたが、参加者の方、能登の事件の件、まだまだ他山の石。公民館などに防災マップはありますが、防災マップの存在自体を知らない市民の方もいるので、市政だより等で防災マップを広報し、市内の危険な場所などを広く市民に周知してほしい。</p>	<p>多様な災害を想定して作成した新居浜市総合防災マップは、令和5年12月に更新し、現在新居浜市のホームページに掲載をしております。災害が発生する前や発生した後の正しい避難行動が確認できる等、防災に関する情報をわかりやすくまとめています。</p> <p>各地区版の防災マップ（A1サイズ）は、ホームページに掲載するだけでなく、スマートフォンでも確認できます。また、指定避難所及び単位自治会へ2月中に配布予定ですので、各自治会館などで市民の皆様が御確認・御活用していただきますようお願いいたします。なお、市内全体を表した1枚物の防災マップは、縮尺の関係上、各地点の詳細な情報を確認することが困難であるため、縮尺を統一したA1サイズ（合計8枚）を重ね合わせると市内全体の被害想定等を確認できます。御活用していただきますようお願いいたします。</p> <p>また、防災マップの存在自体があまり周知されていないというところもありますので、今後、SNSでの発信や市政だよりでの広報なども考えてまいりたいと思います。</p> <p>(危機管理監)</p>
5	<p>【防災・危機管理関係】 能登半島地震を経験し、南海トラフ大地震対策に力を入れている新居浜市として、市民に協調して欲しい内容について発表してほしい。</p>	<p>新居浜市として南海トラフ巨大地震対策だけではなく、津波災害対策や台風等の風水害対策など、多様な災害を想定して作成した新居浜市総合防災マップを活用した正しい避難行動の確認、自らの命は自ら守るとの考えである「自助」、地域住民の連携や要配慮者に対する支援などの考えである「共助」について御理解をお願いします。また、「自助」としては、特に国縣市などの「公助」の手が、被災者に届くまでの間、生き延びるために必要な1週間程度の災害備蓄品を用意し、保管していただきますようお願いいたします。なお、防災センターでは、災害の疑似体験ができる施設ですので、市民のみなさまには防災・減災について学び、防災意識の向上に役立てていただきたいと考えております。</p> <p>南海トラフ巨大地震に備え、市民のみなさまにもまずは自分の命を自分で守っていただきたいと考えております。新居浜市では昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震診断や耐震改修工事に関する補助事業がございます。能登半島地震では、大変多くの家屋の倒壊被害が見られました。木造住宅にお住まいのみなさまは、住まいの耐震化について御検討をお願いいたします。</p> <p>《危機管理課・建築指導課》</p>

	意見	市の回答
6	<p>【防災・危機管理関係】</p> <p>南海トラフ地震に対しての新居浜市の取り組み、対策。</p> <p>廃棄物対策なども含めて、公助・共助などの自治会の取り組みもわかる範囲で教えてください。</p>	<p>新居浜市が取り組んでいる南海トラフ地震に対する主要な対策として、ハード面では、公共施設の耐震化などに取り組んでおり、ソフト面では、多様な災害を想定した新居浜市総合防災マップの活用の周知、市内各小・中学校には飲料水などの物資備蓄及び資機材備蓄（整備）、御家庭内の家具転倒防止対策への補助等に「公助」として取り組んでおります。</p> <p>自治会における防災訓練等の取り組みですが、自主防災組織が中心となって作成した地区防災計画に基づいて実施される訓練で、より効果的な訓練等になるよう、訓練後の気づきを話し合っていたいただくこと等により、防災・減災意識の向上に努めていただいております。なお、災害時において、地域における避難行動要支援者の支援体制を構築するため、自治会など地域支援者と連携を図り、主に介護事業所の利用者を中心に介護支援専門員等の協力を得ながら、個別避難計画の作成を進めてまいります。作成した個別避難計画は、自治会等の地域支援者と共有し、平時から支えあえる仕組みを構築します。</p> <p>廃棄物対策としては、大量に発生する災害廃棄物の処理については、新居浜市災害廃棄物処理計画に基づき災害廃棄物仮置場を設置し迅速な処理を行うこととしています。迅速な処理を行うため、廃棄物の種類ごとに区画を設け分別して仮置きするため、市民のみならず、複数種別の廃棄物を混載した持ち込みはできるだけ避け、事前に分別して単一種別の廃棄物を持ち込むよう御協力をお願いいたします。また、災害時は断水が発生する可能性が高く、長期間トイレの使用が不可能となることが予想されるため、日頃から携帯トイレを準備するなどの備えもお願いします。</p> <p style="text-align: right;">《危機管理課・廃棄物対策課》</p>
7	<p>【市民生活・環境関係】</p> <p>市で30代、40代の独身男女が知り合えるようなイベントや交流会をやってはどうか。（愛媛結婚支援センターの婚活パーティーや民間のパーティーに何回か参加したが市外の人が多く来るため（特に男性）女性が市外へ出なければいけない。）地元で生活したくてもできなくなる。新居浜市では民間のパーティー自体も少ない。愛媛結婚支援センターのパーティーの仕組みはよくできていると思う。（1対1で話した後にはフリータイムが長い時間あるため。）似たようなことを市でやれば良いと思う。婚活パーティーとしてしまうと話づらい人もいるかもしれないので、人が50人や100人集まれるイベントや交流会みたいなので知り合える場所をつくれればいいと思う。</p>	<p>現在新居浜市では、えひめ結婚支援センターに業務委託をして、結婚を望む男女に、出会いの機会を提供できるよう、年4回婚活イベントを開催しております。対象年齢については、20代から30代が中心とはなっておりますが、40代の方も参加できるイベントもございます。</p> <p>また、大人数で集まるイベントにつきましても、多くの方と出会えるというメリットがございます。しかし、参加者全員と会話する時間を設けようとすると、イベント自体の時間が長くなってしまいう上に、1対1で会話する時間も短くなってしまいうため、イベントに参加された方に御満足いただけない可能性がございます。そういった点も踏まえて、今後は参加者のニーズを探りながら、気軽に参加できるイベントを開催できるよう検討していきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p> <p>新型コロナウイルスの影響で交流イベントみたいなものが少なくなってしまいましたが、以前は新居浜青年会議所さんや商工会議所さん、あるいは市内のホテルとかで大きい婚活交流パーティーみたいなものを開催されていまして、感染症が落ち着いた今、そういった民間の団体や事業所とも連携をしていきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">（市民環境部長）</p>

	意見	市の回答
8	<p>【市民生活・環境関係】</p> <p>自治会の入会者数が伸び悩んでいると、聞いています。自治会に入ったら、こんな良い事がある楽しい事があると言う事を、発信してみたらいかがでしょうか。</p> <p>私は西連寺の自治会に入っています。以前は自治会の行事への参加も少なかったのですが、最近、合唱部やカラオケクラブに所属して、練習日がある日は、なるべく参加するようになりました。知り合いが増えると、親睦旅行や文化祭への参加も以前より一層楽しくなりました。各自治会の活動を紹介するような情報発信をして、自治会に入った事によるメリットを発信する事をお勧めします。</p>	<p>自治会の加入促進につきましては、新居浜市に新たに転入された方に加入促進パンフレットや、自治会活動の紹介などの案内資料を差し上げています。また、今年度の新たな取り組みとして、新居浜市、新居浜市連合自治会、愛媛県宅地建物取引業協会、愛媛県宅地建物取引業協会新居浜地区連絡協議会の4者で「新居浜市における自治会加入促進に関する協定」を締結し、新たに賃貸借を結ばれる方に自治会加入を呼び掛ける、あるいは自治会活動を紹介するというような取り組みを行うようにしております。また、3月の第1週目の日曜日にはイオンで加入促進のキャンペーンを実施する予定といたしております。子どもたちから加入促進のポスターや作文なども募集するなど、様々な取り組みを通じて、自治会の存在意義や自治会への加入促進というものを今後も広く呼びかけを行っていきたくと考えております。</p> <p>(市民環境部長)</p>
9	<p>【市民生活・環境関係】</p> <p>地域の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の活用 <p>大洲市では連合自治会を廃止し、単位自治会に対して市が直接依頼や支援を行う制度に変更した。これは災害時の迅速な情報伝達などにも繋がるため防災の観点からも意味のある改革だと思うが、新居浜市では連合自治会の存続や今後の在り方についてどう考えているか。防災について、現在新居浜市に昭和56年の5月31に知以前の旧耐震基準のものはどのくらいありますか。そしてこれに対してどういう取り組みをしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の維持管理 <p>市内の道路を見るに、草がたくさん生えていたり、ごみが落ちているところがある。私も家の近くの道路などは雑草を抜いたりしてはいるが、職員が草を引いているところは見かけたことがない。道路の維持管理についてどのようになされているのか。具体的な場所を例示すると新高橋近辺などである。</p> <p>松の木の方から海岸に出るところに階段があるが、歩行者のために手すりを付けるといいと思うがどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持管理 <p>公園の整備はどのような基準で行われているのか。少子化を考えると、子供が身近な場所で遊べるように、小さい範囲毎に公園が整備されているのが望まし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の活用 <p>自治会への連絡手段としては、数年前から単位自治会長さんに携帯メールを登録いただき、災害時や緊急時に単位自治会長さんへ一斉メール送信により情報伝達をできるような取り組みを行っております。今後におきましても登録のお手間はおかけすることになりますが、緊急的な連絡手段が必要な時にはそのようなチャンネルを使って広報をしてまいりたいと考えております。また、市ホームページにおいても連合自治会の情報等も随時掲載し、速やかに皆さんに情報伝達できるような取り組みも今後進めていきたいと考えております。</p> <p>(市民環境部長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化について <p>新居浜市では全体が約4万棟ある中で、元々旧耐震基準の住宅が15,590棟あり、その内4,660棟が耐震診断・耐震補強を実施し、現在の旧耐震基準の住宅棟数は10,930棟ございます。能登半島地震のこともございますので診断補助や改修補助を活用して、ぜひ耐震補強をしていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の維持管理 <p>現在、道路課が管理する道路で、雑草により見通しが悪い、通行に支障があると認識している区間は年2回の除草を行っております。もし、道路の雑草で困っている場所がありましたら、道路課で対応を検討しますので、詳しい場所をお知らせください。また、松の木から海岸の方に出るところにある階段ですが、市の管理する歩道ではなく、県の管理する海岸の管理用通路であるため、県のほうへ申し入れをしましたが、今のところ設置する予定はないということでしたので、私もまた現場を確認し、必要であるようなら再度県に申し入れをしたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の維持管理 <p>現在新居浜市全体での都市公園面積は、必要とされる住民一人当たりの標準面積は満たしておりますが、滝の宮公園や山根公園、国領川緑地などの大規模公園の占める面積が大きく、小規模な公園整備は十分とは言えないと認識しております。高津校区内の公園としては、国領川緑地、松の木公園などの都市公園や東雲、桜木地区の</p>

	意見	市の回答
9	<p>いが、沢津には現在 1, 300 戸以上あるが、公園がない。公園整備についてどのように考えているのかお聞きしたい。あと河川敷のトイレについて、手すりがあるものとなないものがある。すべてに手すりを設置してもらいたい。</p>	<p>子供広場がございますが、沢津町には設置されていないのが現状です。公園整備については多大な費用を要するため、新たに土地を買収しての整備ということにつきましては、財政的に大変厳しいと考えております。しかしながら、子育て支援や健康づくり、地域交流の観点からも、身近な公園は必要であると認識しておりますことから、例えば一定の土地を無償で提供又は貸与していただける、また整備後の管理も地域の協力が得られるなど、条件が整う場合につきましては、事業化について検討したいと考えております。</p> <p>(市長)</p>
10	<p>【道路・交通関係】</p> <p>いつも渋滞に悩んでおりましたが、現在たくさんの道路を整備していただいで楽しみにしております。現在ほとんど出来上がっているんですけども滝の宮公園から真光寺のあたりまでどんな感じになるのか詳しく知りたいということ、上部東西線は新居浜自動車学校の上までは既に開通していますが萩生のあたりまではほぼ開通間近になっていますが、そのあとが買収が進んでいるのかどうかまったく見えません。JR 中萩駅のほうに通じる道の計画をされているのも教えてほしいのですがいかがでしょうか。</p>	<p>まず、西町中村線について、滝の宮橋までは先ほどのパワーポイントの説明のとおり 11 号バイパスが開通するときに合わせて一緒に開通します。滝の宮橋の架け替え工事が少し時間を要します。そこから滝の宮の入口までは、もう用地買収は完了していますので、あと工事だけとなっております、県が実施します。早急な工事実施を県に要望しようと思っておりますが、用地買収が完了しているので、そんなにかかからないとは思っています。それから、上部東西線についても先ほどの説明で申し上げましたとおり、中萩と大生院の両方から用地買収工事を進めております。用地買収もかなり進んできており、あとは予算がついて工事がどこまでできるかということなのでこれは若干まだ時間を要するかもしれません。いついつまでというのは申し上げにくい状況です。</p> <p>(市長)</p>
11	<p>【道路・交通関係】</p> <p>高齢 (74 歳) の為、交通事故防止の観点から、後期高齢者となる今年 6 月に、運転免許証の返納を考えております。しかし、今色々な活動をしておりますが、現在の公共交通機関利用では、大幅にその活動が制限されてしまいます。</p> <p>新居浜市として、高齢者の健康と、活動活性化及び交通事故発生防止の為、どのような方策を考えておられるか？お聞かせ願いたい。</p> <p>因みに現在の瀬戸内バス他の運行時刻では夕方以降の外出は困難。夜間の活動はできません。(19:00 以降はバス便無し) またデマンドタクシーについても利用は 16 時が最終です。市の方針としては高齢者の免許返納についてどうお考えになっていますかあるいは高齢者の社会参加についてどうお考えですか。様々な集まりにおいて一番エネルギーに動いているのが 60 代、70 代です。特に女性の方はエネルギーで、市の活性化のためにこの人たちのエネルギーを無駄にする手はないかと私は思います。</p>	<p>瀬戸内バスあるいはデマンドタクシーも半額というようなことは今実施しておりますが、お話にありましたような夜の運行問題については、まずせとうちバスにも確認しましたが、現在運転手さんの数が非常に少なく、また運転手さんの勤務時間が今度の 4 月から変更になり、休憩時間が必須となることから、夜遅くまで運転すると、次の朝の運転ができなくなるというようなことも言われておりますので、なかなか夜間のバス運行については厳しい状況と感じております。デマンドタクシーが 16 時までしか運行していないというのは先ほど初めて聞きましたので申し訳ないのですが、もう少し延長できないのかという印象は持ちました。タクシー会社さんの御協力を得られるかどうかによるのでちょっとなんとも言えませんが、もう少し延長できないものか検討させていただきます。交通弱者の方の移動手段の確保が一番大きな問題なので、デマンドタクシーが今中心となっておりますが、自治会での乗り合いなどのような新しいシステムの導入も考えていかないと地域の方の交通を確保することは難しいのかなという思いでおりますので、また皆さんの知恵を拝借しながらこういうものをやったらどうかというような御提案をいただいたら、検討させていただきたいと思っております。</p> <p>(市長)</p>

	意見	市の回答
12	<p>【経済・産業関係】</p> <p>旧市内商店街活性化をうたい文句に銅夢キッチンが開設されましたが、現状のお客の入り状況が大変危惧している。</p> <p>丸幸の入店で多少はお客が増えた感があるが、現状の銅夢キッチンでは経営が成り立たずやめていくことが目に見えていると思っている。</p> <p>(1)現状での経営状況は？ 存続はできるのか？</p> <p>(2)経営にもっと市として関与していくべきと思うが、市として出来ることは？</p>	<p>最初、商店街連盟さんからのキッチン経営の御要望で建物は無償譲渡、土地は無償貸与ということでこれまで経営されてきました。それでもやはり品揃えやいろんな面で問題があつて、なかなか経営がうまくいかなかったということですが、今年度若い支配人さんが着任して、いろいろ精力的に様々なことをSNSを使って情報発信したり、キッチンカーを招いてイベントを実施したりなどしていただいて、状況改善されるのかと期待をしていたのですが、残念ながら経営面での改善は見当たらないと非常に厳しい状況と伺っております。そのような状況で市としても先ほどおっしゃったように完全に民間企業のものとなっておりますので、市としてずっと補助をしていくというような支援の形は少し難しいので、様々なイベントを開催して支援をする程度の補助しか今はできない状況になっております。ただ、この間からまた関係者が集まってどのような改善をしていくかというような検討作業に入っておられるようですので、厳しい状況ではございますが、関係者の皆さんといろいろお話をし、どのような改善を行っていくのか今後見極めていきたいというそんな状況でございます。</p> <p>(市長)</p>

・市長あいさつ



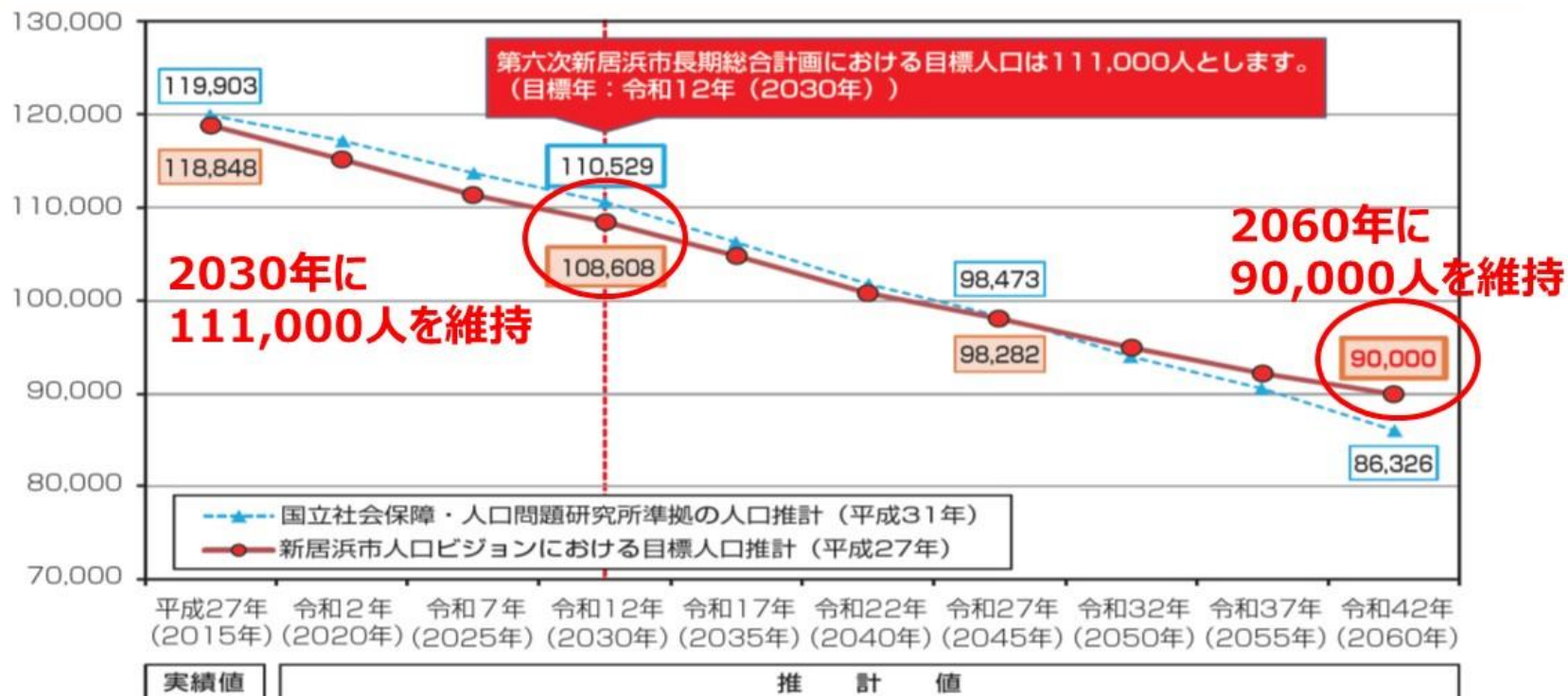
©NPO 法人新居浜まちゆり隊

【資料：1】



新居浜市の目標人口（2030年、2060年）

- 前提条件① 出生率上昇2060年に2.3を達成 ※現在の合計特殊出生率は1.75
前提条件② 2030年に社会増減を0を達成できた場合 ※現在は毎年300人程度の社会減



(参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

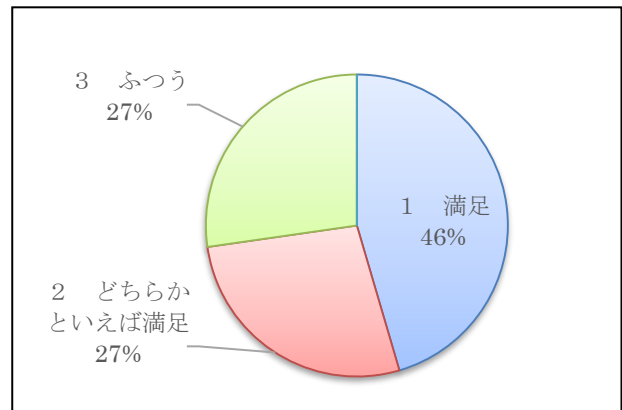
<アンケート概要>

調査対象者	第3回市政モニター会議参加者 19人
調査期間	会議実施日～令和6年3月4日(月)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	11人(58.0%)

<調査結果>

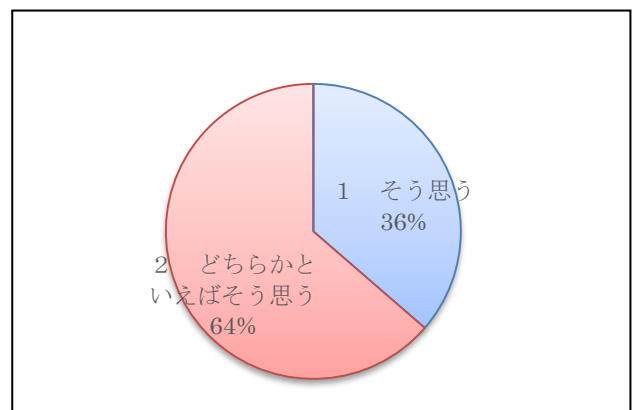
Q1. 今回の市長講演や意見交換の内容について、5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	5人
2. どちらかといえば満足	3人
3. ふつう	3人
4. どちらかといえば不満	0人
5. 不満	0人
合計	11人



Q2. 今回の意見交換会に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	4人
2. どちらかといえばそう思う	7人
3. どちらかといえばそう思わない	0人
4. そう思わない	0人
合計	11人



Q3. 今回の意見交換会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。また、今回の意見交換会で発表できなかった、市政へのご意見、ご提言がありましたら記入してください。(自由記入)

たくさんの感想やご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見・ご提言につきましては担当課にもお伝えし、今後の行政運営に活用させていただきます。本報告ではその一部を紹介します。

【会議について感想・市政モニター制度について】

- ・モニター会議の準備として資料など十分に用意してくれていたと思う。ただ、自分の質問に対してもっと詳しく知りたかったのだけれども土地の買収に関するものなので、どうなるのかこれからの楽しみにしておこうと思う。
- ・KENPOS 大変興味があります。主人と夕方歩いているので、使ってみたいなと思っています。私自身携帯が苦手なのでごく取り掛かるまでハードルが高いです。時々KENPOS のイベントをしているので行ってみたいです。既にされているのかもしれませんが、KENPOS に加入するとあかがねポイントがもらえるとありがたいなと思っています。
- ・毎日の市政運営お疲れさまでございます。様々な質疑に対して、市長以下皆様が真摯に対応しようとしている態度には大変好感が持てました。ありがとうございました。
- ・スクリーンをみながら市長より説明を受け、わかりやすかったです。モニターの人のから受けそうな質問も予想し、的確に返答できればよいと思いました。(1部分でしたが)次回も参加したいと思いました。
- ・石川市長の取組や意見交換を聞いて、大変勉強になりました。今後も活動していきたいです。
- ・市長講演の時間をもっと短くして、質疑応答の時間を倍程度に増やしてほしい。そのためには講演資料を事前配布する必要があります。質疑応答&意見交換をメインにしてほしい。
- ・あまり前向きな回答と思えなかった。話の中に「福祉」が全く出てこない。前市長の時代と比べて寂しかった。

【市政へのご意見、ご提言】

自治会について

新居浜市の現在の自治会の問題点は以下の2点あると思います。

- ①自治会への加入が、即、氏子、檀家としての活動(般若入れ等)への参加が求められ、又、太鼓台の運行、新調への寄附等もあり、信教の自由との兼ね合いで他の宗徒さん(キリスト教、創価学会等)から活動への参加拒否があり、精神的負担、経済的負担が大きく活動に苦慮してまいりました。自治会としての活動は決して否定はしませんが、行政として加入促進をする組織としては信教の自由の確立及び祭関係との分離をした組織であるべきで、現状の自治会へ行政が加入を促進するのは不相当と考えます。
- ②自治会を脱退したのは、高齢化が大きな要素で、元々少人数の中、高齢化で一人世帯が増えてきて、体力的に奥様方から他の世帯が多い区と同様に役割(放送の担当、会での準備・後片付け、太鼓台祭りの御世話等)の分担に少人数では負担が大きくて耐えられないとの声が出てやむなく組内で協議し退会しました。

以上のような問題や経緯で退会に至りました。現在は地区内で年度交代にて世話人を決めて市からの市政だよりの配布や年会費を徴収し、地区内の一斉清掃、街灯の管理、ごみステーションの輪番管理をして必要な活動の運営をしています。

提言としては、現在の自治会活動はそのままそれぞれの自治会で独自の活動をされるといいと思います。行政としては、私たちのような、最低限必要な組内の活動単位を全市内に構築し、市から直接組内へ最低限必要な行政サービスを実施する新構想による市民全体を網羅する新しい組織づくりをお願いします。その組織（ネットワーク）では、最低限必要な行政サービスとして、災害時の伝達連絡および避難への対応、市政だよりの配布、その他必要な行政サービスです。ネットワークでは市民全員が少ない負担で参加できることが肝要です。

私の組内は自治会に加入していない状態なので、現状の自治会への促進として街灯の設置への補助金やごみステーションの管理への支援金等は私たちのように自治会に参加していない地区には支給されません。同じ新居浜市民でありながら、極めて不公平な状況だと思います。

ぜひ、自治会に頼らない、市民全員が精神的にも経済的にも身体的にも負担が少なく行政サービスが公平に受けられる新しい組織（ネットワーク）作りをお願いいたします。

市民文化センターについて

「新市民文化センター建設事業」について。市民団体はたくさんあります。ひとつひとつの団体にお時間をいただくことは難しいかと思いますが、それでも今後のホール建設に利用している市民団体の意見も反映していただきたく、また、建設期間中の活動についても、ご相談させていただきたく思います。

今回の質疑で「1000人近い集客があるイベントについて、解体開始後はどこで開催をすればいいでしょうか」という問いに市長からは「しこちゅ〜ホールや西条のホールを使ってほしい。皆様にはご迷惑をおかけしますが・・・」とのお答えがありました。私たちのイベントはコロナ期間中にご来場者数も減りましたが、700〜1000人のご来場をいただいています。来場者数から考えると、中ホールでの開催は難しいです。

また、ご来場者の皆様は高齢者（60〜80代、90代も）が多いです。タクシーで来られる方もいます。臨時駐車場は遠すぎるので、文化センターの駐車場に停めたいということから、1時間前に並ばれる高齢者の方もいます。そんな中で、市外での開催は難しいと考えます。

市民文化センター建設事業が開始することによって、新しい建物はどのようなものか、ということも議論いただくのはとても大事だと理解しています。ただ、建設期間中の私たちの活動の場についても、併せてご検討いただきたいと思います。解体後、どうすればいいでしょうか。新市民文化センター建設事業の発表後、考えていますが、いい方法が見つかりません。自分たちのことだけを考えているわけではありません。イベントに関してはまずお越しいただくお客様のことをかんがえなければいけません。すみません、中ホールでは開催は困難です。市外での開催は考えられません。

〜ご協力、ありがとうございました〜